

ネキリムシ類（カブラヤガ）の発生に注意!!

ネキリムシ類（カブラヤガ）は野菜等の株元を加害する害虫で、越冬後に羽化した成虫が例年4月上旬から発生し、5月中旬にかけて多くなります。

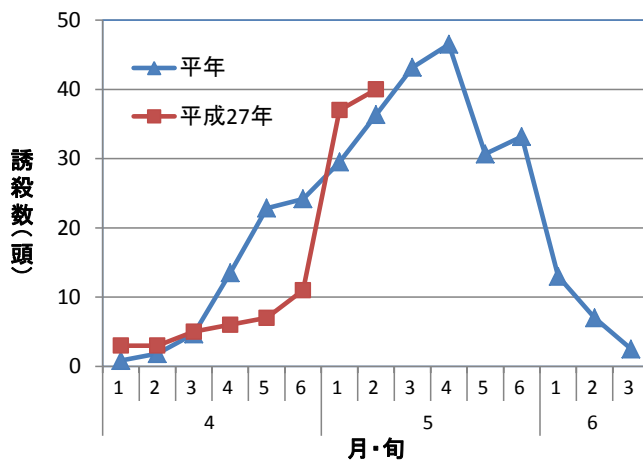
農業試験場のフェロモントラップでは、5月以降、成虫の誘殺数が急増しています。

今後、野菜等の播種・定植を予定している場合は、次世代の幼虫による被害が多くなる恐れがありますので、防除を徹底して下さい。

1 発生状況

農業試験場のフェロモントラップでは、5月以降、誘殺数が急増し、平年を超えています。（右図）

今後、次世代の幼虫による加害は、5月下旬から6月上旬にかけて多くなる見込みです。



2 主な防除薬剤

薬剤名	使用量	使用時期	対象作物	使用回数
ネキリエース K	3kg/10a	は種時又は定植時	キャベツ、ダイコン	1回
		定植時～生育初期 (収穫14日前まで)	ブロッコリー	4回以内
		発芽期～生育初期 (収穫14日前まで)	ニンジン	4回以内
		収穫30日前まで	ネギ、カブ	2回以内
カルホス微粒剤 F	6kg/10a	は種時～生育初期 (収穫30日前まで)	ダイコン	1回
		は種時又は植付時	キャベツ、ハクサイ、 ネギ	1回
	3g/株	定植時	スイカ、カボチャ	1回
クルーザーMAXX	乾燥種子 1kg あたり 原液 8ml 塗沫処理	播種前	ダイズ	1回

- ・休耕地または雑草地を耕起して植付ける場合や毎年被害を受けるほ場では発生が多くなるので、播種・定植前に土壤に殺虫剤を処理して下さい。
- ・ダイズでは、ネキリムシによって苗立ち率が大幅に低下する可能性があるため、播種前に必ずクルーザーMAXXを塗沫処理して下さい。
- ・農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守して下さい。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい